



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 壽信

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 中村 太樹 TEL 03-6447-5799

配当支払開始予定日 -

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	38,854	0.0	8,332	△13.7	5,765	△11.4
2025年3月期第1四半期	38,841	9.6	9,657	11.2	6,511	11.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 10,804百万円(-%) 2025年3月期第1四半期 △2,880百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	190.75	146.16
2025年3月期第1四半期	215.74	156.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,258,022	379,356	5.2
2025年3月期	7,094,566	371,316	5.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 379,318百万円 2025年3月期 371,278百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	75.00	-	85.00	160.00
2026年3月期	-				
2026年3月期（予想）		85.00	-	85.00	170.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	19,300	1.3	13,000	0.6	419.81
通期	47,000	12.8	33,000	5.2	1,071.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	30,650,115株	2025年3月期	30,650,115株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	425,692株	2025年3月期	423,483株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	30,225,221株	2025年3月期1Q	30,183,368株

(注) 当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 —	円 140.00	円 —	円 140.00	円 280.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		193.00	—	193.00	386.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2025年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

750,000株

(2) 2026年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2025年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.82818%

④ 発行済株式数

750,000株

※ 配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 —	円 29.545	円 —	円 29.545	円 59.090
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		82.818	—	82.818	165.636

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2025年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

2,000,000株

(2) 2026年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2025年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.82818%

④ 発行済株式数

2,000,000株

【添付資料の目次】

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3～4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5～6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7～9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業的前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	10
(重要な後発事象の注記)	10

3. 2026年3月期第1四半期決算説明資料

(1) 損益の状況	11～12
(2) ROE	13
(3) OHR	13
(4) 自己資本比率（国内基準）	14～15
(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権	16～17
(6) 貸出金・預金残高等の状況	18～20
(7) 時価のある有価証券の評価損益	21

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結業績の大宗を占めるきらぼし銀行の経常利益が78億円（前年同期比△17億円）、四半期純利益は55億円（同比△10億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が83億円（前年同期比△13億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億円（同比△7億円）となりました。

なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（前年同期比）は、以下のとおりです。

貸出金利息※1	：メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により、引き続き貸出金は増加、利回りも上昇し、前年同期比+36億円。
有価証券利息配当金	：有価証券残高の減少等により同比△2億円。
その他資金利益	：金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比△27億円。
非金利収益※2	：円債のヘッジコストが増加したこと等により同比△7億円。
経費	：事務委託費等物件費の増加等により同比△2億円。
与信関係費用	：金融再生支援や予兆管理強化等による費用発生の抑制により同比+3億円。
債券・株式等関係損益	：債券の売却損が減少した一方、純投資・政策保有株式の売却益の減少等により同比△18億円。

※1. 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれております。

※2. 非金利収益は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。

（非金利収益＝信託報酬＋役務取引等利益＋その他業務利益（国債等債券損益を除く））

※3. 上表の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「△」で表示しております。

経営成績の概況の詳細につきましては、添付資料22ページ「東京きらぼしフィナンシャルグループ 2026年3月期第1四半期 決算概要」をご覧ください。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比1,634億円増加し7兆2,580億円となり、純資産はその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末比80億円増加し3,793億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比2,844億円増加し6兆3,920億円、貸出金は前連結会計年度末比935億円増加し5兆736億円、有価証券は前連結会計年度末比600億円増加し8,947億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月1日に公表いたしました2026年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	980,840	995,693
コールローン及び買入手形	9,829	9,938
買入金銭債権	70,165	64,180
商品有価証券	1,190	1,203
金銭の信託	5,132	5,113
有価証券	834,771	894,782
貸出金	4,980,179	5,073,690
外国為替	5,658	6,158
リース債権及びリース投資資産	31,098	33,338
その他資産	71,586	73,965
有形固定資産	58,439	57,336
無形固定資産	16,195	15,912
退職給付に係る資産	35,812	36,439
繰延税金資産	8,903	5,133
支払承諾見返	7,822	8,416
貸倒引当金	△23,061	△23,280
資産の部合計	7,094,566	7,258,022
負債の部		
預金	6,107,621	6,392,098
譲渡性預金	328,200	200,200
コールマネー及び売渡手形	27,196	28,606
債券貸借取引受入担保金	128,696	127,892
借入金	47,910	46,623
外国為替	560	502
社債	4,220	3,910
その他負債	67,190	68,038
賞与引当金	1,906	616
役員賞与引当金	180	—
株式報酬引当金	395	395
退職給付に係る負債	138	79
役員退職慰労引当金	49	111
ポイント引当金	114	113
睡眠預金払戻損失引当金	107	82
偶発損失引当金	873	899
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	66	78
支払承諾	7,822	8,416
負債の部合計	6,723,250	6,878,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	151,024	151,024
利益剰余金	199,225	202,237
自己株式	△1,309	△1,320
株主資本合計	376,440	379,441
その他有価証券評価差額金	△18,299	△12,253
繰延ヘッジ損益	2,498	2,840
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	36	30
退職給付に係る調整累計額	10,845	9,502
その他の包括利益累計額合計	△5,161	△122
新株予約権	9	9
非支配株主持分	28	27
純資産の部合計	371,316	379,356
負債及び純資産の部合計	7,094,566	7,258,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	38,841	38,854
資金運用収益	21,342	25,665
(うち貸出金利息)	16,954	20,790
(うち有価証券利息配当金)	3,942	3,577
信託報酬	63	62
役務取引等収益	5,045	6,418
その他業務収益	190	603
その他経常収益	12,200	6,104
経常費用	29,183	30,522
資金調達費用	1,605	5,812
(うち預金利息)	914	4,680
役務取引等費用	741	973
その他業務費用	4,315	1,637
営業経費	16,465	17,211
その他経常費用	6,054	4,888
経常利益	9,657	8,332
特別利益	45	117
固定資産処分益	45	117
特別損失	1	8
固定資産処分損	1	8
税金等調整前四半期純利益	9,701	8,441
法人税等	3,190	2,676
四半期純利益	6,510	5,765
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,511	5,765

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	6,510	5,765
その他の包括利益	△9,391	5,039
その他有価証券評価差額金	△10,393	6,041
繰延ヘッジ損益	1,274	342
為替換算調整勘定	11	△6
退職給付に係る調整額	△283	△1,342
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
四半期包括利益	△2,880	10,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,879	10,804
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の処理）

連結財務諸表作成における税金費用は、当社及び連結子会社の当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	31,747	3,432	35,179	3,701	38,881
セグメント間の内部経常収益	48	218	267	4,375	4,642
計	31,796	3,650	35,446	8,077	43,524
セグメント利益	9,207	106	9,314	3,075	12,390

（注）1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

（単位：百万円）

経常収益	金額
報告セグメント計	35,446
「その他」の区分の経常収益	8,077
パーチェス法による調整	△40
セグメント間取引消去	△4,642
四半期連結損益計算書の経常収益	38,841

（注） 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額
(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,314
「その他」の区分の利益	3,075
パーチェス法による調整	△72
セグメント間取引消去	△2,660
四半期連結損益計算書の経常利益	9,657

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	31,950	3,670	35,621	3,288	38,909
セグメント間の内部経常収益	114	211	325	4,694	5,020
計	32,065	3,882	35,947	7,983	43,930
セグメント利益	8,034	94	8,129	3,130	11,259

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	35,947
「その他」の区分の経常収益	7,983
パーチェス法による調整	△54
セグメント間取引消去	△5,020
四半期連結損益計算書の経常収益	38,854

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,129
「その他」の区分の利益	3,130
パーチェス法による調整	△86
セグメント間取引消去	△2,840
四半期連結損益計算書の経常利益	8,332

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,640百万円	1,850百万円
のれんの償却額	125百万円	125百万円

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

3. 2026年3月期第1四半期決算説明資料

(1) 損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2026年3月期第1四半期の経常収益は、前年同期比13百万円増加の38,854百万円、経常利益は前年同期比1,325百万円減少の8,332百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比746百万円減少の5,765百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年 6月期	2024年 6月期比	2024年 6月期
経常収益	1	38,854	13	38,841
業務粗利益	2	24,328	4,350	19,977
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(23,926)	(578)	(23,347)
資金利益	4	19,853	116	19,736
信託報酬	5	62	△0	63
役務取引等利益	6	5,445	1,141	4,303
その他業務利益	7	△1,033	3,092	△4,125
経費(除く臨時処理分)	8	17,616	757	16,859
与信関係費用	9	473	△378	852
株式等関係損益	10	784	△5,241	6,025
持分法による投資損益	11	1	△0	2
その他	12	1,308	△55	1,363
経常利益	13	8,332	△1,325	9,657
特別損益	14	109	65	43
税金等調整前四半期純利益	15	8,441	△1,259	9,701
法人税等	16	2,676	△514	3,190
四半期純利益	17	5,765	△745	6,510
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△0	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	5,765	△746	6,511

② きらぼし銀行

【単体】

2026年3月期第1四半期の単体業績は、メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により貸出金利息が増加するも、金利上昇に伴う預金利息の増加や株式等売却益が減少したこと等により、経常利益が前年同期比1,753百万円減少の7,816百万円、四半期純利益は前年同期比1,054百万円減少の5,511百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年 6月期	2024年 6月期比	2024年 6月期
経常収益	1	30,199	△1,445	31,644
業務粗利益	2	21,054	3,319	17,735
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務粗利益】	3	(20,985)	(△120)	(21,105)
資金利益	4	20,129	651	19,478
信託報酬	5	62	△0	63
役務取引等利益	6	2,384	△72	2,456
その他業務利益	7	△1,521	2,741	△4,263
経費(除く臨時処理分)	8	14,373	259	14,114
人件費	9	5,663	72	5,590
物件費	10	7,408	445	6,962
税金	11	1,301	△259	1,560
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)【実質業務純益】	12	6,680	3,060	3,620
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務純益】	13	(6,611)	(△379)	(6,990)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	(6,587)	(△398)	(6,986)
一般貸倒引当金繰入額 ①	15	△3	24	△28
業務純益	16	6,684	3,035	3,649
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	17	(69)	(3,439)	(△3,370)
臨時損益	18	1,131	△4,788	5,920
不良債権処理額 ②	19	317	△395	712
貸出金償却	20	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	21	188	△396	585
債権売却損(△:益)	22	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	23	26	58	△31
信用保証協会責任共有制度負担金	24	95	△61	156
その他不良債権処理額	25	7	4	2
貸倒引当金戻入益 ③	26	—	—	—
償却債権取立益	27	0	△9	10
株式等関係損益	28	784	△5,248	6,033
その他臨時損益	29	663	74	589
経常利益	30	7,816	△1,753	9,569
特別損益	31	111	182	△71
税引前四半期純利益	32	7,928	△1,570	9,498
法人税等	33	2,416	△515	2,931
四半期純利益	34	5,511	△1,054	6,566
与信関係費用 ①+②-③	35	313	△370	684

【連結】

(単位：百万円)

		2025年 6月期	2024年 6月期比	2024年 6月期
経常収益	36	31,206	△2,046	33,252
経常利益	37	7,741	△1,951	9,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	38	5,404	△1,221	6,625

（2）ROE

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：％）

	2025年	2024年	2024年 6月期
	6月期	6月期比	
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	6.16	△1.05	7.21

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本＋期末自己資本）÷2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】

（単位：％）

	2025年	2024年	2024年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	7.49	3.31	4.18
業務純益ベース	7.50	3.28	4.21
コア業務純益ベース	7.41	△0.65	8.07
四半期純利益ベース	6.18	△1.40	7.58

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本＋期末自己資本）÷2 で算出しております。

きらぼし銀行【連結】

（単位：％）

	2025年	2024年	2024年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	6.70	3.07	3.62
業務純益ベース	6.70	3.04	3.66
コア業務純益ベース	6.62	△0.69	7.31
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	5.79	△1.45	7.25

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本＋期末自己資本）÷2 で算出しております。

（3）OHR

きらぼし銀行【単体】

（単位：％）

	2025年	2024年	2024年 6月期
	6月期	6月期比	
コア業務粗利益ベース	68.49	1.61	66.87
業務粗利益ベース	68.26	△11.31	79.58

（注） $OHR = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$

(4) 自己資本比率 (国内基準)

①東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円、%)

	2025年 6月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.77	0.02	8.74
(2) 自己資本	355,940	4,154	351,786
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	379,441	5,754	373,686
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,615	△3	4,618
(3) リスク・アセット等	4,055,633	34,114	4,021,519
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	162,225	1,364	160,860

②きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 6月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	9.30	0.18	9.12
(2) 自己資本	358,537	4,982	353,555
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	373,865	5,511	368,353
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,444	△2	4,446
(3) リスク・アセット等	3,853,882	△22,149	3,876,031
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	154,155	△885	155,041

③きらぼし銀行【連結】

(単位：百万円、%)

	2025年 6月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	9.33	0.13	9.19
(2) 自己資本	361,594	3,842	357,751
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	379,857	5,404	374,453
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,535	△0	4,535
(3) リスク・アセット等	3,872,038	△16,626	3,888,664
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	154,881	△665	155,546

④UI銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2025年 6月末	2025年 3月末比	
		2025年 3月末	2025年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	6.49	0.60	5.89
(2) 自己資本	12,858	4,742	8,116
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	15,332	4,579	10,753
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	164	2	161
(3) リスク・アセット等	198,019	60,282	137,736
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	7,920	2,411	5,509

（注）「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。

また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては標準的計測手法を採用しております。

(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年6月末			2025年3月末	2024年6月末
	2025年6月末	2025年3月末比	2024年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,370	216	△2,438	15,154	17,808
危険債権	69,704	△1,231	△13,302	70,936	83,007
要管理債権	6,150	△195	△1,549	6,345	7,700
三月以上延滞債権額	234	171	20	63	214
貸出条件緩和債権額	5,915	△366	△1,570	6,282	7,486
小計 (A)	91,226	△1,210	△17,290	92,436	108,516
正常債権	4,924,061	33,392	151,440	4,890,669	4,772,620
総与信残高 (B)	5,015,287	32,182	134,150	4,983,105	4,881,137
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	1.81	△0.03	△0.40	1.85	2.22

② UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年6月末			2025年3月末	2024年6月末
	2025年6月末	2025年3月末比	2024年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7	5	2	1	4
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	7	5	2	1	4
正常債権	119,262	63,275	118,780	55,986	481
総与信残高 (B)	119,269	63,280	118,783	55,988	485
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.00	0.00	△0.87	0.00	0.88

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

部分直接償却を実施した場合

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

				2025年 3月末	2024年 6月末
	2025年 6月末	2025年 3月末比	2024年 6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,551	219	△18	6,332	6,570
危険債権	69,704	△1,231	△13,302	70,936	83,007
要管理債権	6,150	△195	△1,549	6,345	7,700
三月以上延滞債権額	234	171	20	63	214
貸出条件緩和債権額	5,915	△366	△1,570	6,282	7,486
小計 (A)	82,407	△1,207	△14,871	83,614	97,278
正常債権	4,924,061	33,392	151,440	4,890,669	4,772,620
総与信残高 (B)	5,006,468	32,185	136,569	4,974,283	4,869,899
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	1.64	△0.03	△0.35	1.68	1.99

② UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

				2025年 3月末	2024年 6月末
	2025年 6月末	2025年 3月末比	2024年 6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7	5	2	1	4
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	7	5	2	1	4
正常債権	119,262	63,275	118,780	55,986	481
総与信残高 (B)	119,269	63,280	118,783	55,988	485
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.00	0.00	△0.87	0.00	0.88

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(6) 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 6月末			2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
貸出金(未残) (除く特別国際金融取引勘定) (A)	4,983,854 (4,983,854)	30,836 (30,836)	136,203 (136,203)	4,953,017 (4,953,017)	4,847,650 (4,847,650)
中小企業等貸出金 (B)	3,972,086	△13,534	21,269	3,985,621	3,950,817
うち消費者ローン	666,162	△12,521	△32,137	678,684	698,299
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	79.69	△0.76	△1.80	80.46	81.49

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 6月末			2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
貸出金(未残) (除く特別国際金融取引勘定) (A)	119,189 (119,189)	63,230 (63,230)	118,705 (118,705)	55,959 (55,959)	484 (484)
中小企業等貸出金 (B)	119,189	63,230	118,705	55,959	484
うち消費者ローン	119,189	63,230	118,705	55,959	484
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	100.00	—	—	100.00	100.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2025年 6月末			2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
貸出金(未残) (除く特別国際金融取引勘定) (A)	5,103,044 (5,103,044)	94,066 (94,066)	254,909 (254,909)	5,008,977 (5,008,977)	4,848,135 (4,848,135)
中小企業等貸出金 (B)	4,091,276	49,695	139,974	4,041,581	3,951,301
うち消費者ローン	785,352	50,708	86,568	734,644	698,784
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	80.17	△0.51	△1.80	80.68	81.50

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

② 預金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 6月末			2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
預金（未残）	5,709,646	241,777	110,885	5,467,869	5,598,761
個人預金	2,921,229	△8,279	△77,575	2,929,508	2,998,804
法人預金	2,380,182	168,299	220,150	2,211,883	2,160,032
その他預金	408,234	81,757	△31,688	326,476	439,923

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 6月末			2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
預金（未残）	741,261	46,031	324,005	695,229	417,256
個人預金	741,261	46,031	324,005	695,229	417,256

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円)

	2025年 6月末			2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
預金（未残）	6,450,907	287,808	434,890	6,163,098	6,016,017
個人預金	3,662,490	37,752	246,429	3,624,737	3,416,060
法人預金	2,380,182	168,299	220,150	2,211,883	2,160,032
その他預金	408,234	81,757	△31,688	326,476	439,923

③ 預かり資産残高

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 6月末	2025年 3月末比		2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
預かり資産	429,308	8,077	△2,580	421,230	431,888
投資信託	146,930	4,719	△12,176	142,210	159,106
生命保険	268,480	3,186	11,527	265,294	256,953
公共債	13,897	172	△1,930	13,724	15,828

(2) きらぼしライフデザイン証券

(単位：百万円)

	2025年 6月末	2025年 3月末比		2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
預かり資産	306,189	16,119	6,342	290,070	299,847
投資信託	277,454	9,813	27	267,640	277,426
公共債	220	△3	163	224	57
その他	28,514	6,308	6,150	22,205	22,363

(3) きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

(単位：百万円)

	2025年 6月末	2025年 3月末比		2025年 3月末	2024年 6月末
		2025年 3月末比	2024年 6月末比		
預かり資産	735,497	24,196	3,761	711,300	731,735
投資信託	424,384	14,532	△12,149	409,851	436,533
生命保険	268,480	3,186	11,527	265,294	256,953
公共債	14,118	168	△1,766	13,949	15,885
その他	28,514	6,308	6,150	22,205	22,363

④ 信託業務

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

		2025年 6月期	2025年 3月期比		2025年 3月期	2024年 6月期
			2025年 3月期比	2024年 6月期比		
公共工事代金債権信託	取扱金額	9,732		3,550	49,495	6,182
	期末残高	29,010	△9,037	7,987	38,047	21,023
不動産管理信託	取扱金額	1,753		1,418	12,205	334
	期末残高	108,530	1,926	11,874	106,603	96,655
その他	取扱金額	6		△3	28	9
	期末残高	815	△49	△2,202	864	3,017
合計	取扱金額	11,492		4,965	61,729	6,527
	期末残高	138,356	△7,159	17,659	145,516	120,697

(注) 取扱金額は算定期間が異なるため、2025年3月期比は記載していません。

(7) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2025年6月末				2024年6月末		
	評価損益	2024年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,033	667	—	1,033	△1,700	—	1,700
その他有価証券	△25,549	△7,535	19,253	44,803	△18,013	24,815	42,829
株式	15,163	△4,290	15,933	769	19,454	19,703	249
債券	△26,770	△4,988	233	27,004	△21,782	285	22,068
その他	△13,942	1,743	3,086	17,029	△15,686	4,825	20,511

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年6月末				2024年6月末		
	評価損益	2024年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△753	786	—	753	△1,539	—	1,539
その他有価証券	△25,461	△8,282	18,748	44,209	△17,178	24,945	42,124
株式	14,690	△4,155	15,455	765	18,846	19,092	245
債券	△26,486	△5,017	256	26,743	△21,468	359	21,828
その他	△13,665	890	3,035	16,700	△14,555	5,494	20,049



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2026年3月期 第1四半期
決算概要

2026年3月期 第1四半期決算サマリー

東京きらぼしFG(連結)

		(億円)				
		① 24/6 〈実績〉	② 25/6 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 26/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)
1	経常利益	96	83	▲13	470	17.7%
2	親会社株主に帰属する四半期純利益	65	57	▲7	330	17.4%

経常利益

前年同期比 ▲13.7%
(96億円 → 83億円)

親会社株主に帰属する 四半期純利益

前年同期比 ▲11.4%
(65億円 → 57億円)

きらぼし銀行(単体)

		(億円)				
		① 24/6 〈実績〉	② 25/6 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 26/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)
1	コア業務粗利益	211	209	▲1	950	22.0%
2	資金利益	194	201	+6	880	—
3	貸出金利息	169	206	+36	857	—
4	有価証券利息	39	36	▲2	204	—
5	預金等利息	▲6	▲37	▲30	▲145	—
6	その他利息	▲7	▲5	+2	▲35	—
7	非金利収支	16	8	▲7	70	—
8	経費	▲141	▲143	▲2	▲549	—
9	コア業務純益	69	66	▲3	401	16.4%
10	与信関係費用	▲6	▲3	+3	▲50	—
11	国債等債券損益	▲33	0	+34	11	—
12	株式等関係損益	60	7	▲52	60	—
13	その他臨時損益	5	6	+0	▲1	—
14	経常利益	95	78	▲17	421	18.5%
15	特別損益	▲0	1	+1	▲2	—
16	法人税等合計	▲29	▲24	+5	▲128	—
17	四半期純利益	65	55	▲10	291	18.9%

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示
注2:非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

ポイント解説

▶ 主な利益減少要因は…
有価証券売買関連項目の前年同期比 ▲18億円 (億円)

	24/6	25/6	前年同期比
11 国債等債券損益	▲33	0	+34
12 株式等関係損益	60	7	▲52
有価証券関連(Net)	26	8	▲18

24/6期は有価証券評価損処理に関する売買損益を計上
国債等債券損益: ⊖円債等ロスカット(33億円)
株式等関係損益: ⊕純投資・政策保有株式売却益計上(60億円)

▶ 一方、預貸金利息は前年同期比 +6億円 と堅調 (億円)

	24/6	25/6	前年同期比
3 貸出金利息	169	206	+36
5 預金等利息	6	37	▲30
預貸金利息(Net)	162	169	+6

▶ 顧客向けサービス業務利益(本業利益)は同比 +8億円 (P.11参照)

経常利益

前年同期比 ▲18.3%
(95億円 → 78億円)

四半期純利益

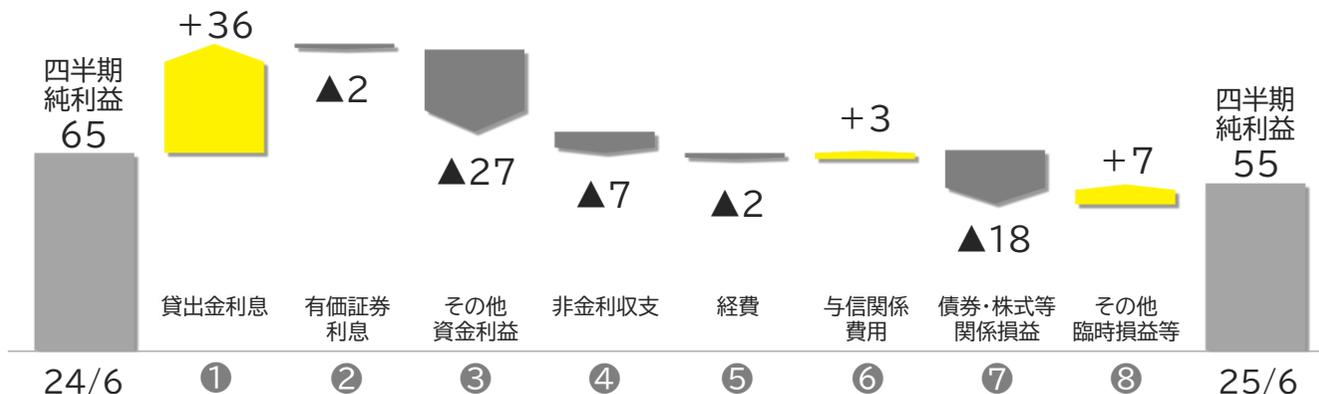
前年同期比 ▲16.0%
(65億円 → 55億円)

四半期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

	主要項目	前年同期比	ポイント
①	貸出金利息	+36億円	メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により、引き続き貸出金は増加、利回りも上昇し、前年同期比+36億円
②	有価証券利息配当金	▲2億円	有価証券残高の減少等により同比▲2億円
③	その他資金利益 (預金等利息+その他利息)	▲27億円	金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比▲27億円 ▶預金等利息【24/6期】▲6億円→【25/6期】▲37億円 ▶その他利息【24/6期】▲7億円→【25/6期】▲5億円
④	非金利収支 (信託報酬+役員取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く))	▲7億円	円債のヘッジコストが増加したこと等により同比▲7億円 ▶役員取引等利益(信託報酬含む)【24/6期】25億円→【25/6期】24億円 ▶その他業務利益【24/6期】▲8億円→【25/6期】▲15億円
⑤	経費	▲2億円	事務委託費等物件費の増加等により同比▲2億円
⑥	与信関係費用	+3億円	金融再生支援や予兆管理強化等による費用発生抑制により同比+3億円
⑦	債券・株式等関係損益	▲18億円	債券の売却損が減少した一方、純投資・政策保有株式の売却益の減少等により同比▲18億円 ▶国債等債券損益【24/6期】▲33億円→【25/6期】0億円(24/6期は実現損33億円計上) ▶株式等関係損益【24/6期】60億円→【25/6期】7億円
⑧	その他臨時損益 特別損益・法人税等合計	+7億円	法人税等の減少(+5億円)などにより同比+7億円
	計	▲10億円	

前年同期からの増減 (億円)



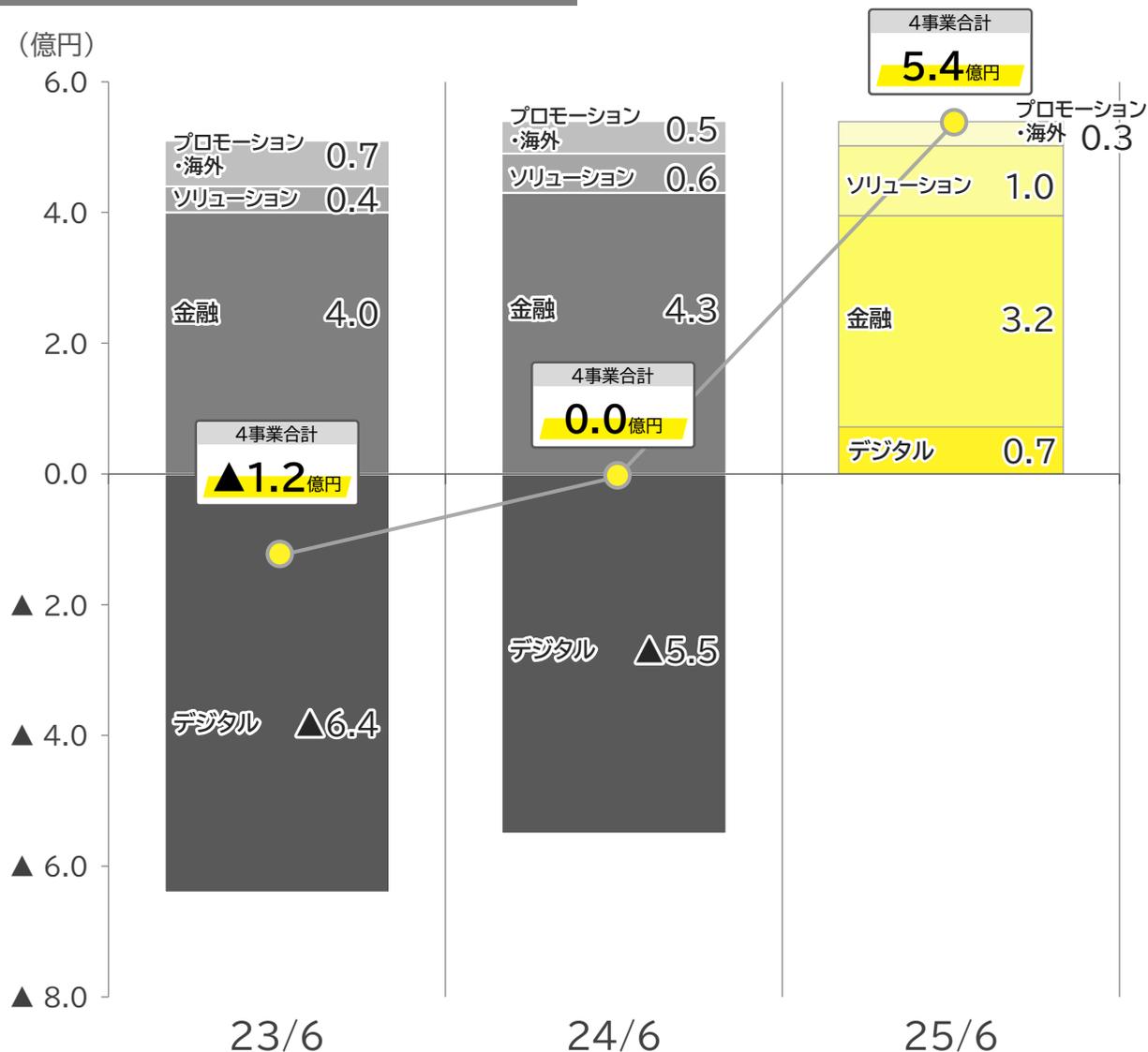
連単差

	(億円)
きらぼし銀行【単体】四半期純利益	55
グループ連結利益【うち創業赤字等の影響:▲0】	+5
連結グループ会社間の内部取引消去 等	▲2
東京きらぼしFG【連結】四半期純利益	57

グループ会社利益（きらぼし銀行を除く）

UI銀行が第1四半期黒字計上したことにより、「デジタル」事業の合計は黒字転換
引き続きグループ会社間の連携による顧客基盤の拡大と課題解決により連結利益貢献を目指す

事業別グループ会社利益推移



デジタル事業

UI銀行
きらぼしテック

金融事業

東京きらぼしリース
きらぼしキャピタル
きらぼしライフデザイン証券
きらぼし債権回収
きらぼしインシュアランスエージェンシー
きらぼしJCB
きらぼし信用保証
八千代信用保証

ソリューション事業

きらぼしコンサルティング
きらぼしシステム
アイティーシー
きらぼしビジネスオフィスサービス

プロモーション・海外事業

ビー・ブレーブ
きらぼしビジネスサービス
綺羅商務諮詢(上海)
信銘冠嘉商務諮詢(北京)
KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM

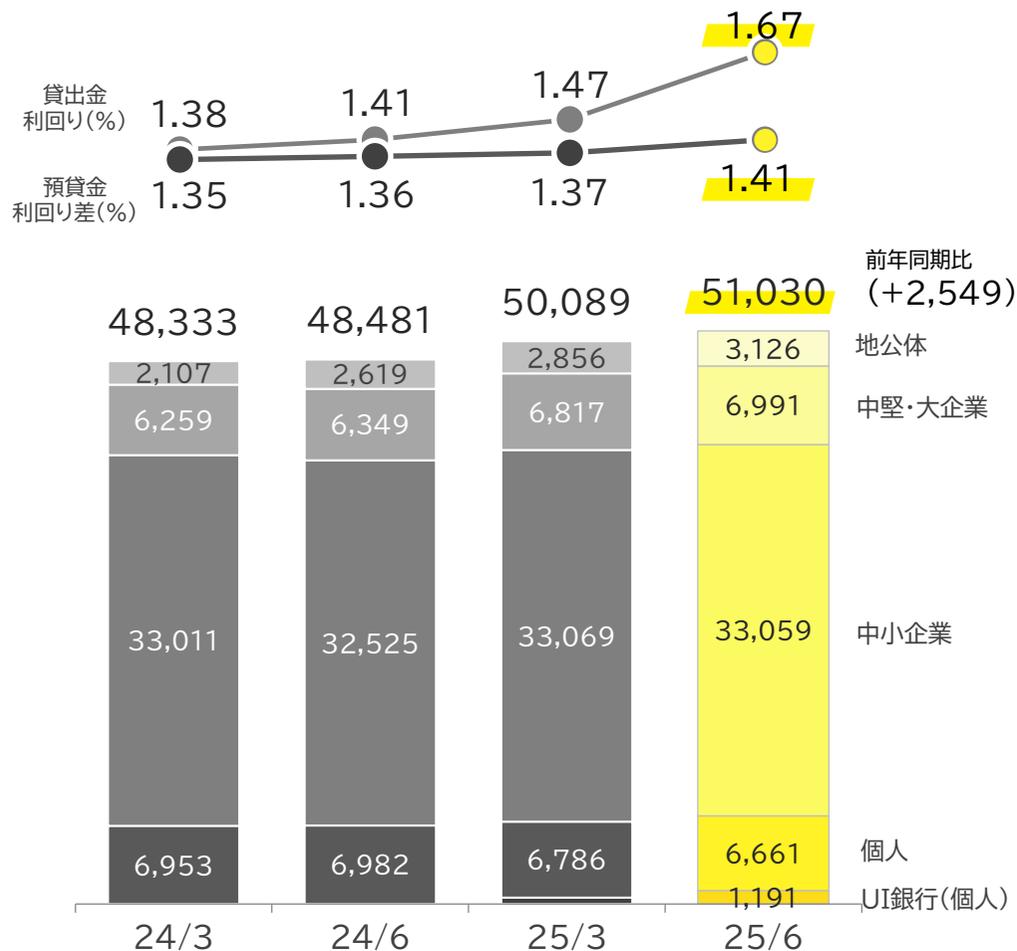
貸出金・信託財産

メイン化取引の推進等顧客とのリレーション強化の取組みにより、前年同期比貸出金残高増加・利回り上昇
金利上昇に伴い預金等利息が増加する一方で貸出金利息も増加し、資金利益全体の増加基調は継続

顧客別貸出金残高 (きらぼし銀行+UI銀行) (億円)

きらぼし銀行
UI銀行

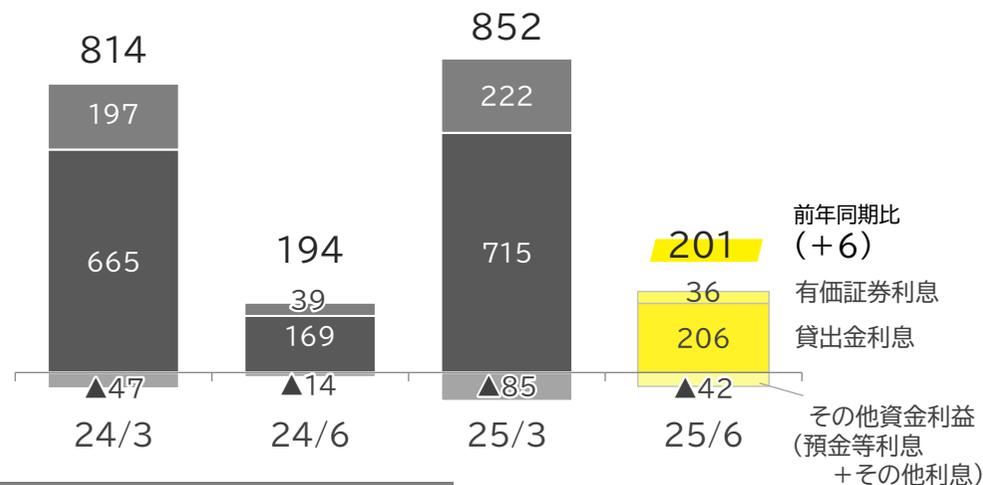
※利回りはきらぼし銀行単体



きらぼし銀行	48,331	48,476	49,530	49,838
UI銀行	2	4	559	1,191

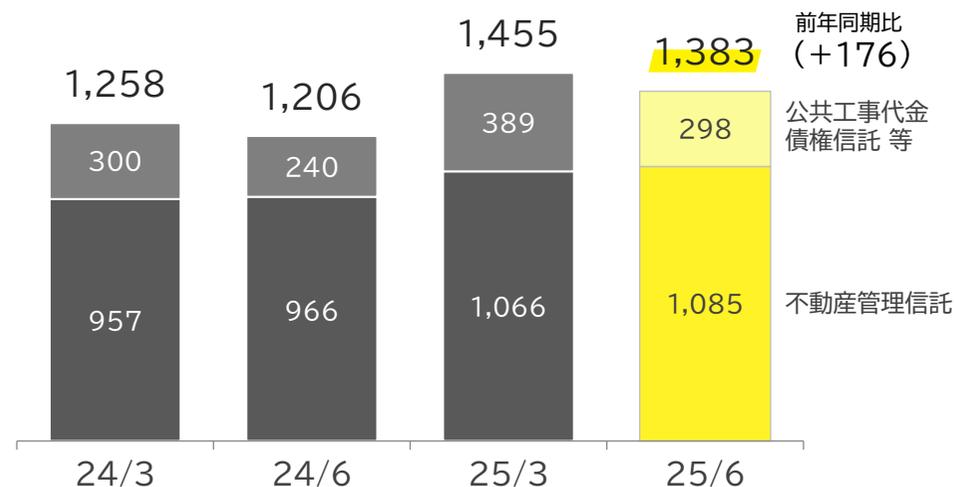
資金利益 (億円)

きらぼし銀行



信託財産残高 (億円)

きらぼしBK



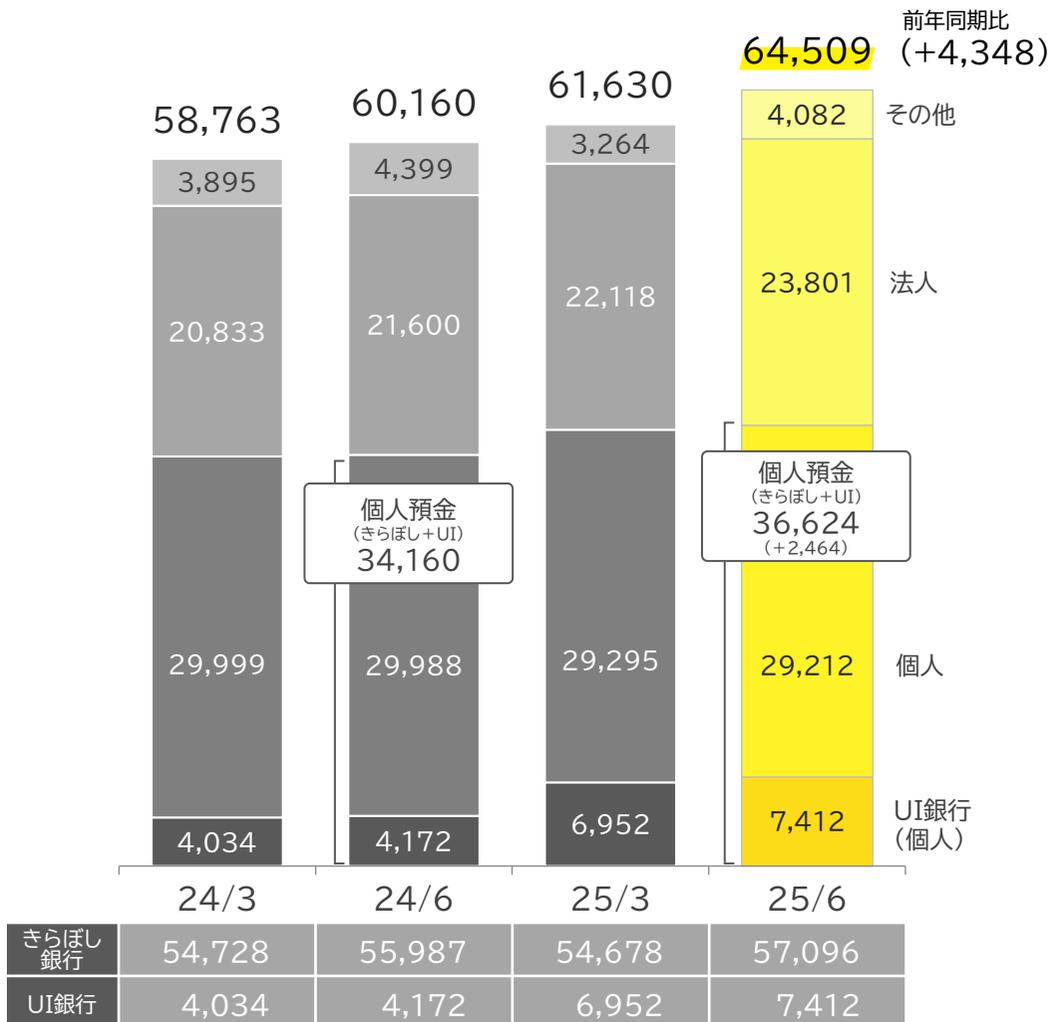
預金・預かり資産残高

グループ合算預金残高(きらぼし銀行+UI銀行)は、UI銀行の個人預金を中心に増加し、前年同期比+4,348億円
 預かり資産残高は、引き続きKLD証券の残高は増加した一方、グループ合算では概ね横ばいに留まる

顧客別預金残高 (きらぼし銀行+UI銀行) (億円)

きらぼし銀行
UI銀行

前年同期比
(+4,348)

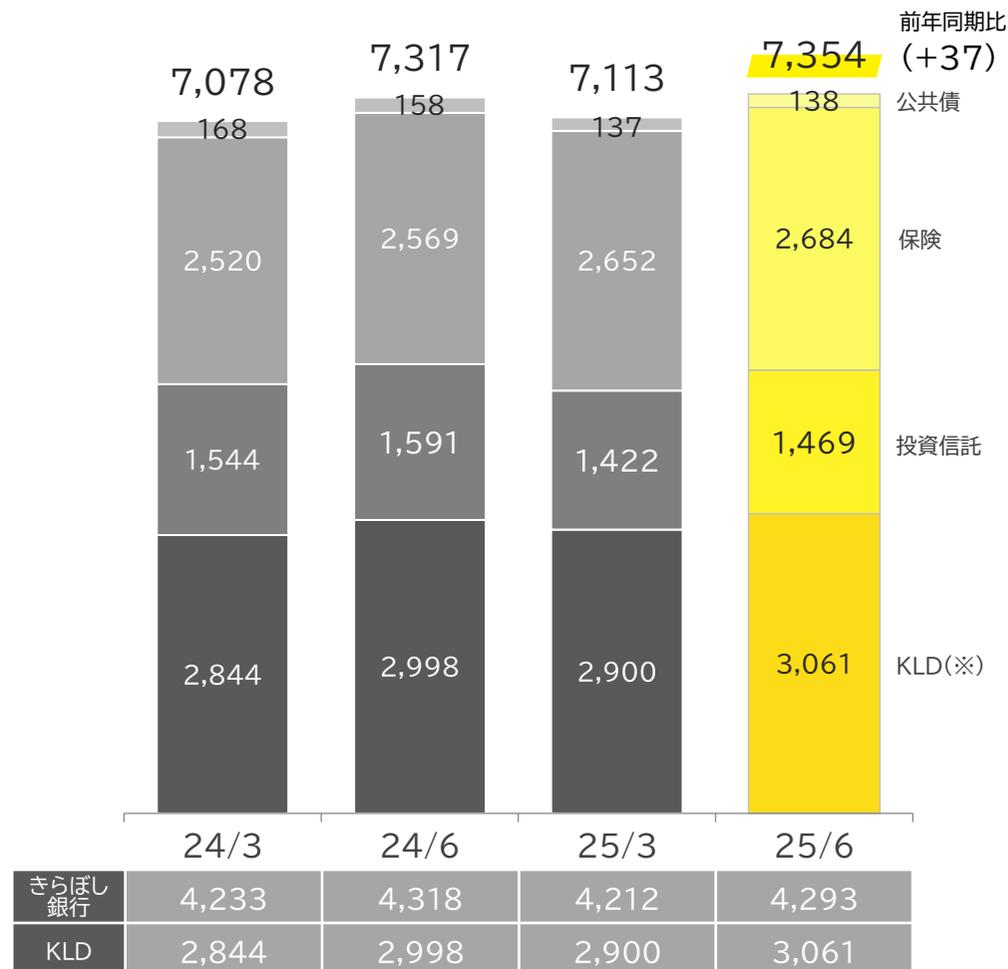


※譲渡性預金を含まない

項目別預かり資産残高 (きらぼし銀行+KLD) (億円)

きらぼし銀行
KLD証券

前年同期比
(+37)



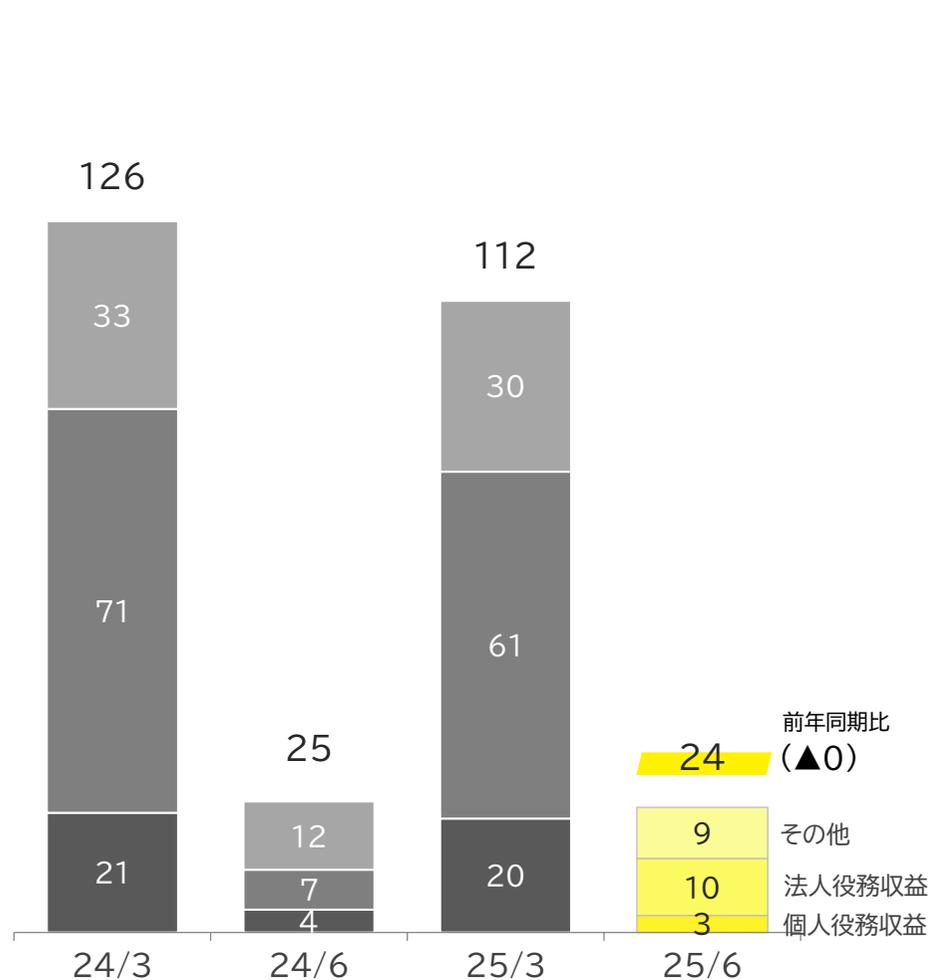
※KLD:きらぼしライフデザイン証券

役務取引等利益

法人役務収益は事業性ファイナンス等に関連する収益が増加し前年同期比+3億円
個人役務収益は前年同期比▲1億円となった一方、KLD証券の手数料収益は横ばいで推移

役務取引等利益 (億円)

きらぼし銀行

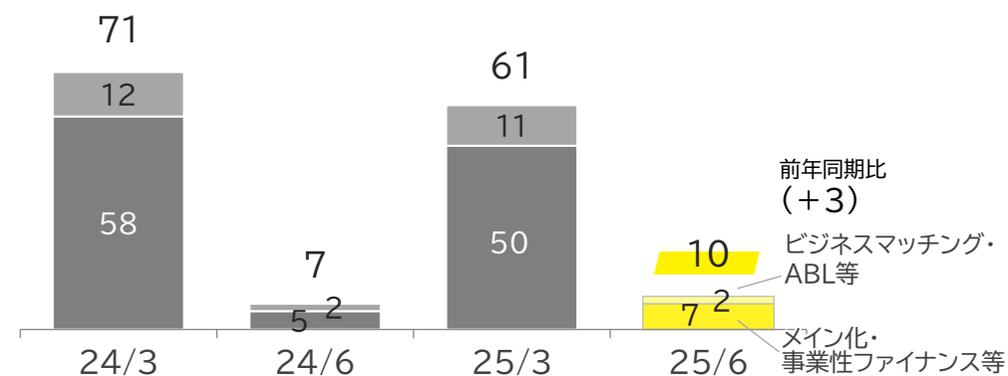


※「その他」に信託報酬を含む

法人役務収益 (億円)

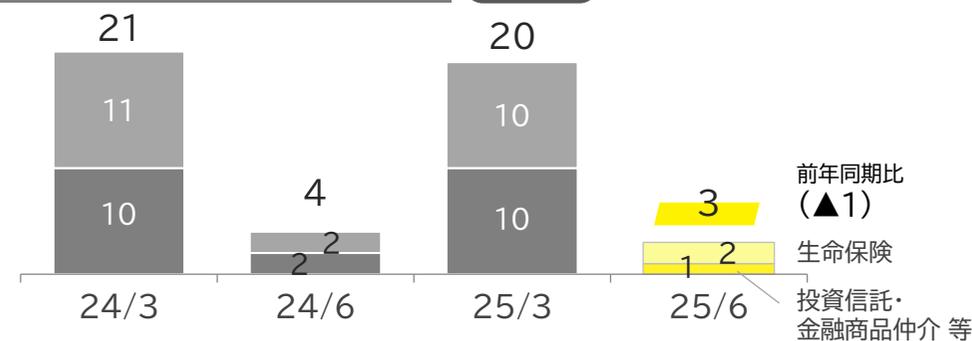
きらぼし銀行

※「法人役務収益」
「個人役務収益」の内訳は
内部管理計数による

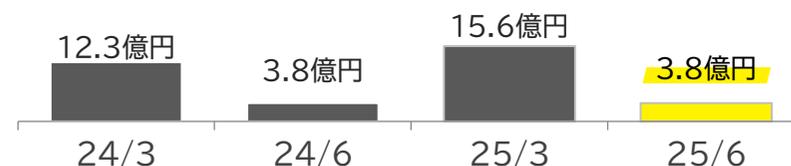


個人役務収益 (億円)

きらぼし銀行



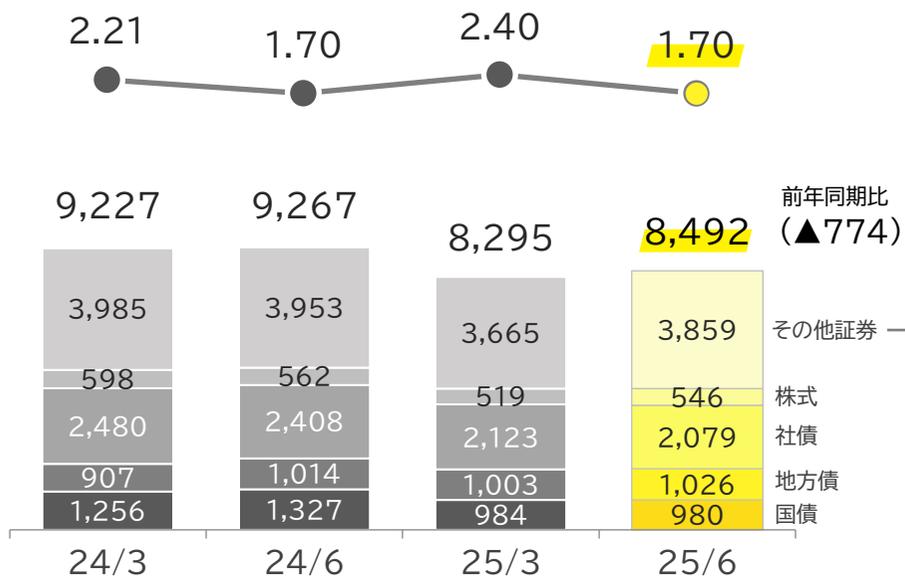
【参考】きらぼしライフデザイン証券手数料収益 (※上記個人役務収益には含まれない)



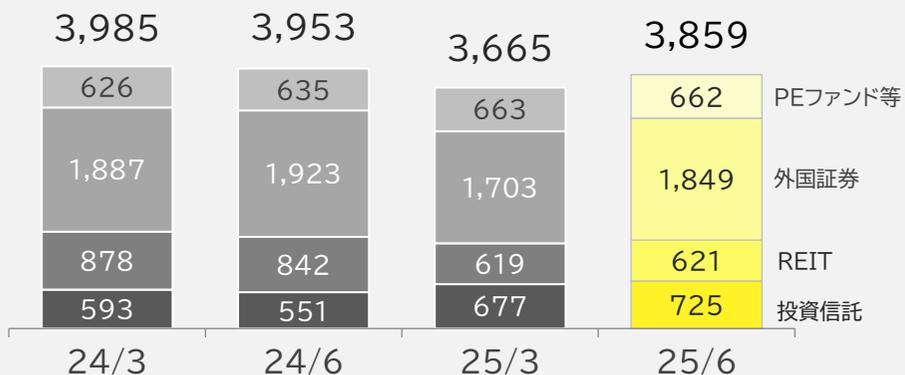
更なる金利上昇に備え、ヘッジオペレーションによるリスクコントロールを引き続き実施

有価証券残高・利回り (億円、%)

きらぼし銀行

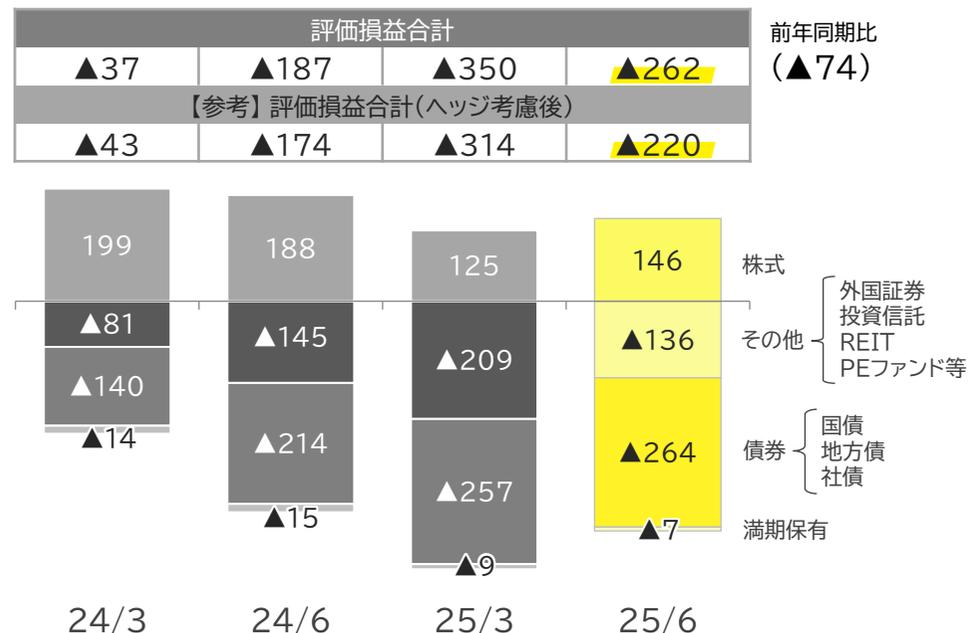


その他証券 内訳



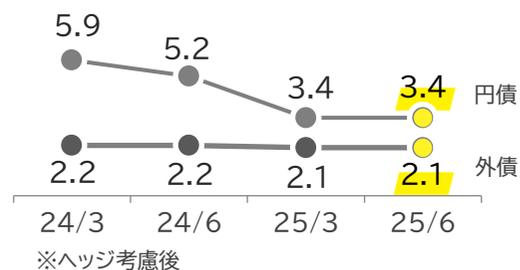
有価証券評価損益 (億円)

きらぼし銀行



デュレーション (年)

きらぼし銀行



金利感応度 (億円)

きらぼし銀行

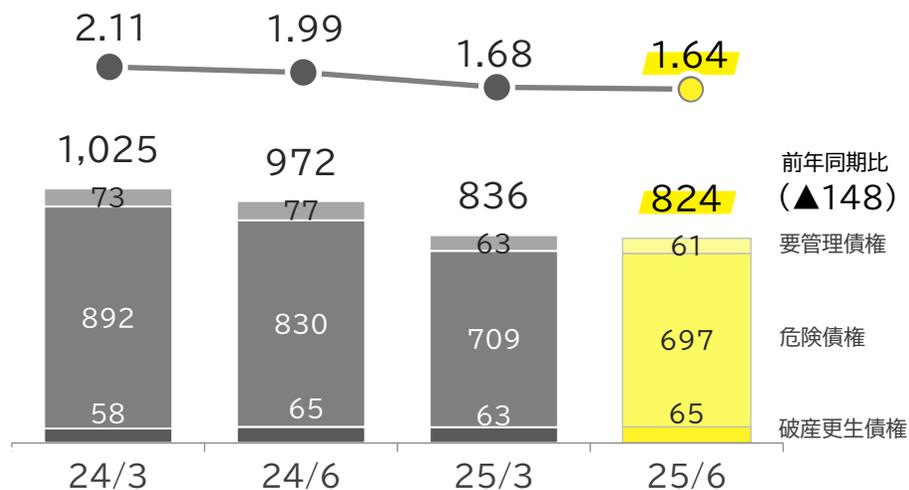


金融再生法開示債権・自己資本比率

開示債権比率は引き続き1%台で低下基調は継続、与信費用も費用発生抑制により前年同期比で減少
リスク・アセットが増加した一方、利益の積上げにより自己資本は増加、前年同期比で自己資本比率は上昇

開示債権額・比率 (きらぼし銀行) (億円、%)

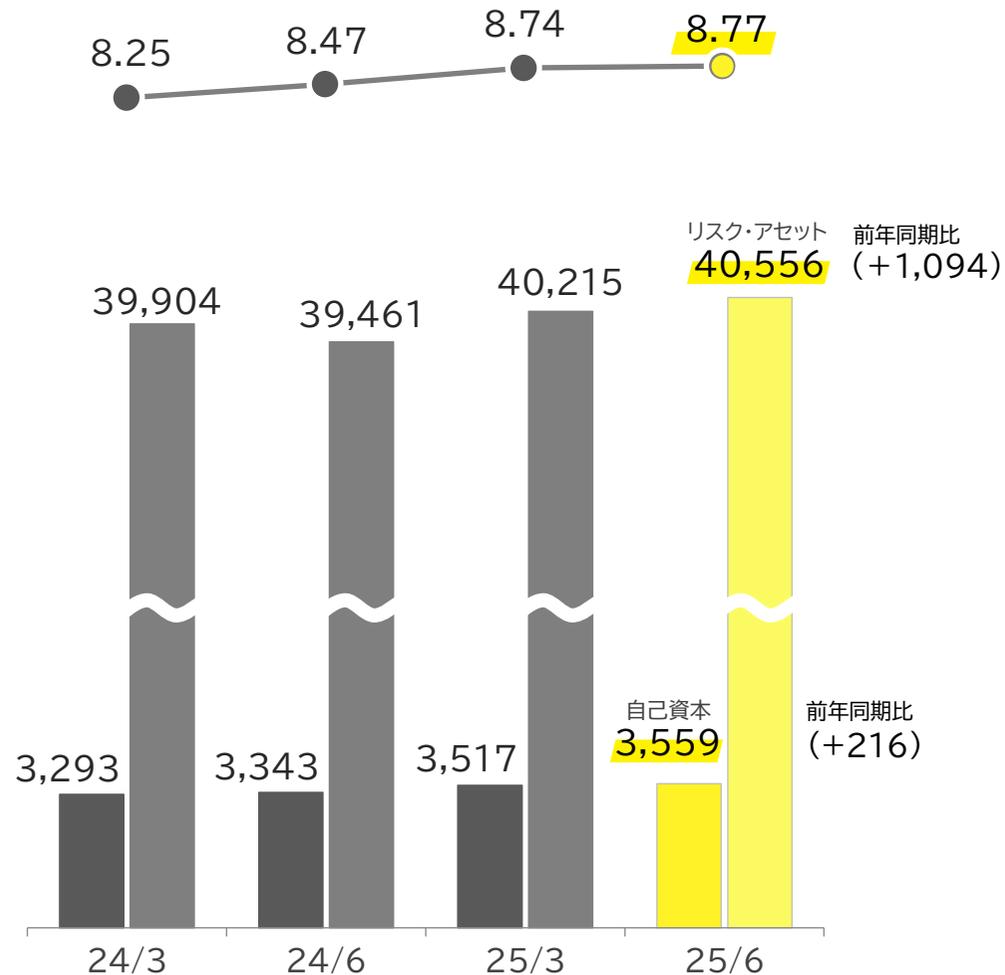
きらぼし銀行



※部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

自己資本比率 (東京きらぼしFG連結) (億円、%)

FG連結



与信関係費用 (きらぼし銀行) (億円)

きらぼし銀行

	24/6	25/6	前年同期比
① 一般貸倒引当金繰入額	▲0	▲0	+0
② 不良債権処理額	7	3	▲3
うち個別貸引繰入額	5	1	▲3
③ 貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用 (①+②-③)	6	3	▲3

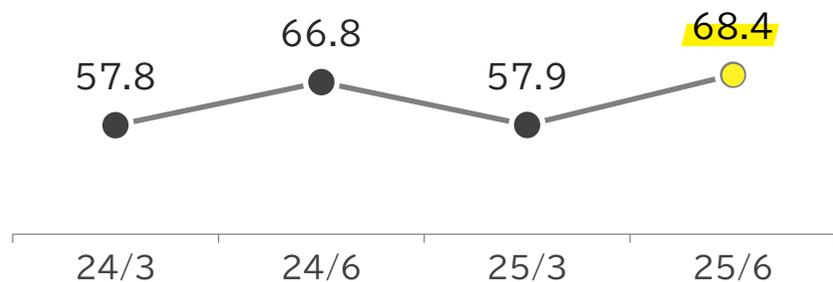
コアOHR・ROE・配当金

コアOHRは、コア業務粗利益の減少、事務委託費等経費が増加したことなどにより前年同期比1.6%pt上昇
 ROEは、四半期純利益の減少や、利益蓄積による自己資本の増加等により前年同期比1.0%pt低下

コアOHR (%)

きらぼし銀行

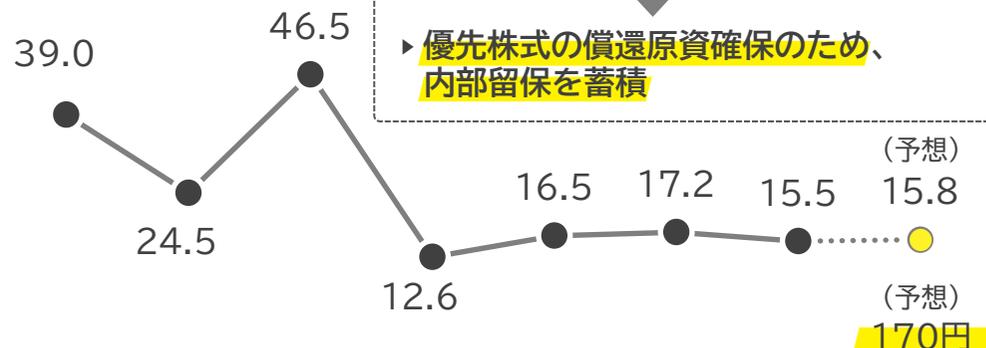
$$\text{コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$$



1株当たり年間配当金・配当性向 (円、%)

FG連結

- ▶ 予想年間配当金は**170円**と5期連続増配予想、一方、**配当性向は低水準で推移**
- ▶ **優先株式の償還原資確保のため、内部留保を蓄積**

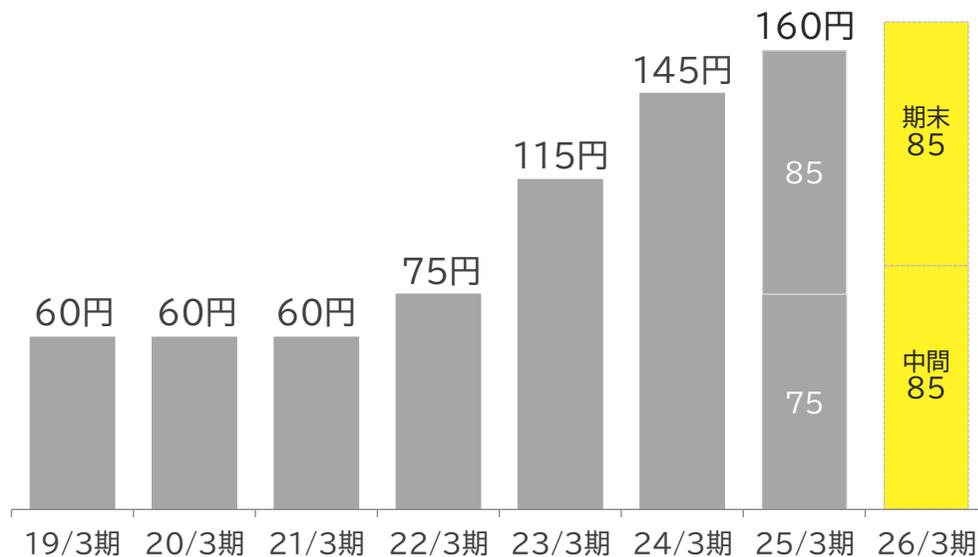
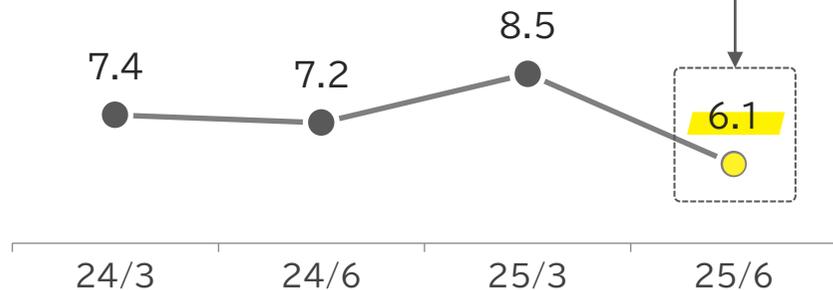


ROE (%)

FG連結

$$\text{ROE} = \frac{\text{四半期純利益}/91日 \times 365日}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2} \times 100$$

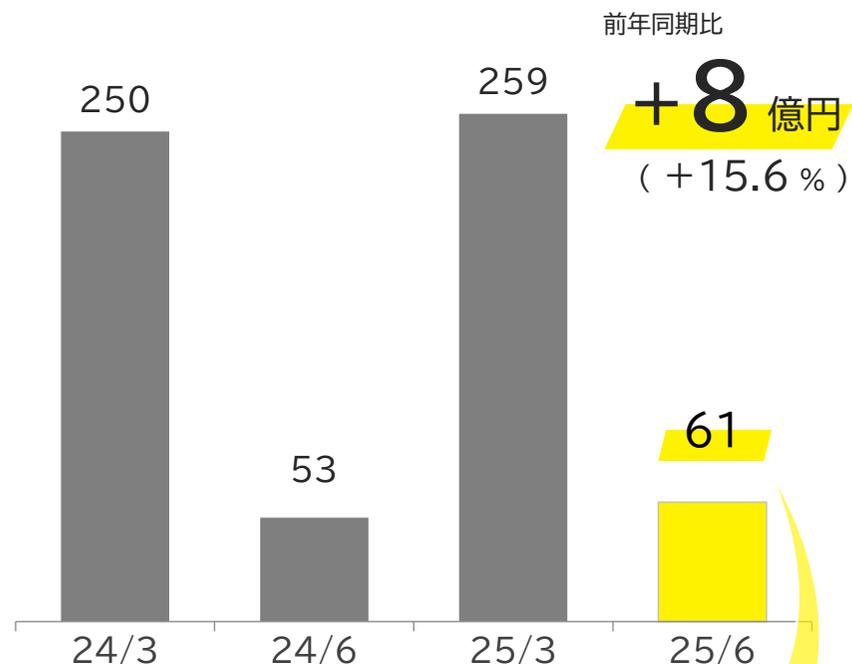
▶ 前年同期比の主な低下要因は
有価証券の売却益減少等
(P.2「ポイント解説」参照)



<参考> 顧客向けサービス業務利益 / 金利上昇の影響試算

顧客向けサービス業務利益(※1) (億円)

きらぼし銀行



主な増減要因

増加：貸出金残高 (前年同期比 +1,362億円)
預貸金利回り差 (前年同期比 +0.05%pt)

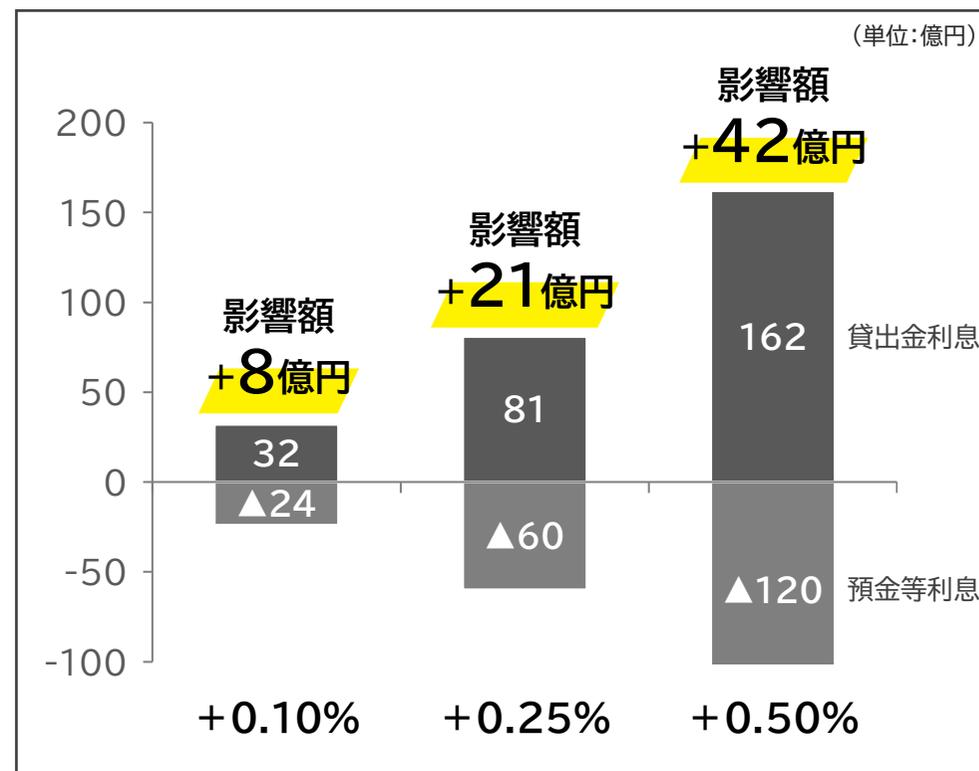
※1 算出方法：(貸出金残高×預貸金利回り差) + 役務取引等利益 - 営業経費
※2 役務取引等利益は、信託報酬を含む

金利上昇の影響試算 (億円)

きらぼし銀行

政策金利が上昇した場合の預貸金利息への影響額

※2025年5月1日公表(再掲)



【前提条件】

- 政策金利が0.1%上昇した場合の年間(12か月)の試算値
- きらぼし銀行単体の影響(UI銀行の預貸金の影響は考慮せず)
- 貸出金及び預金の残高は、2025年度末の想定値

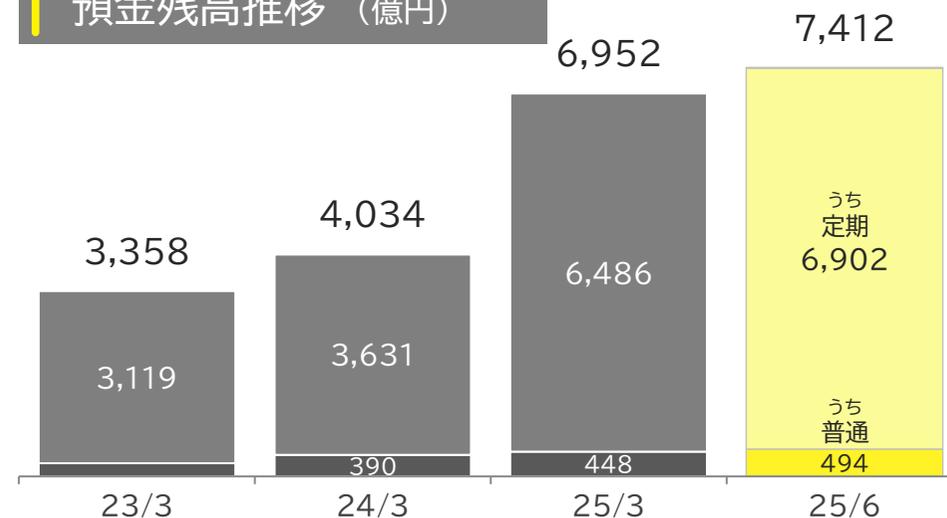
預金残高およびローン残高は堅調な伸びが継続。引き続きローン残高を積み上げ収支改善を目指す

UI銀行 業績サマリー (億円)

	24/6 (実績)	25/6 (実績)	前年同期比
1 コア業務粗利益	4	10	+5
2 資金利益	4	1	▲3
3 うち貸出金利息	6	13	+6
4 うち預金利息	▲2	▲14	▲12
5 非金利収支	▲0	9	+9
6 経費	▲9	▲12	▲2
7 コア業務純益	▲5	▲2	+2
8 与信関係費用	▲0	▲0	+0
9 国債等債券損益	—	3	+3
10 経常利益	▲5	0	+6
11 四半期純利益	▲5	0	+6

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示
 注2:非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

預金残高推移 (億円)



ローン残高推移 (億円)

